

奨励賞

中小企業区分

梅南鋼材株式会社

※事業者の情報は応募時点(2018年)

所在地	大阪府大阪市西成区南津守 5-12-16
業種	製造業
社員数	46名
受賞歴	2017 奨励賞
ウェブサイト	http://www.bainan.jp

3 つ の 視 点 で 日 々 改 善

取組の目的

2004年より毎年新卒採用を続けている弊社は、正社員平均年齢 28.8 歳(2018年4月)と製造業としてはかなりの若返りを実現しております。一方で経営指針に基づく中期 10 年ビジョンにおいては従業員数 120 名を視野に置き、工場の新設・移転等を繰り返し業務の拡大を続けています。

拡大していく事業の中で環境負荷を最小限に抑え、きれいな環境を次世代へとつなげることを使命と捉え、循環型社会の実現に向けて、事業活動と環境配慮の両立を常に考えた教育体系の充実に取り組んでいます。

特に近年弊社では「人間尊重の経営」の理念の下に、社員の健康に関わることにも意識を向け、従業員自らが自主的に働き方を考えられる環境を目指し、中小企業ならではの柔軟性を持った教育訓練形態の形成・改善に注力しています。

取組の実績

毎年経営指針発表会を行い、全ての従業員が参加して会社の方針・環境方針・自身の目標を周知し自覚を促しています。

定められたローテーションに従い、毎週月曜日異なる部署に赴き、自部門以外の仕事について学ぶ人材交換を行っています。

毎月 1 回金曜日午後から業務を停止し、全社員参加で全体会議を行い以下のような項目について検討報告を行っています。

- ・ 品質：事業活動の結果報告、ISO9001 に基づく教育訓練計画の実施結果、不適合発生率、生産性、残業時間など
- ・ 環境：環境活動の結果報告、エコアクション 21 に基づく教育訓練計画の実施結果、5S 活動実施状況など

「環境 人づくり企業大賞 2018」受賞企業の取組事例

- 健康：専門家を招いてストレスチェック・メンタルヘルスケアの依頼、ウォーキングラリー、昼食アンケート等

各部門にエコ 21 推進委員・ISO 推進委員・健康づくり委員が任命され、それぞれの視点から日々改善活動が行われています。

教育項目	実施月	対象者	教育担当者	実績	
				実施日	評価
新入職員安全衛生教育	4月	新入社員(3名)	外部	2017.04.14	修了証を受領
新入社員研修	4月~9月	新入社員(3名)	外部	4/1~9/30	修了証を受領
ものづくりマイスターによる溶接技術指導	6月~8月	社員氏名	外部	6/15~8/31 2回/週	溶接技能者評価試験合格
玉掛け技能講習会	11月		外部	2017.11.17 ~19	修了証を受領
人権啓発推進員研修	7月		外部	7/11,12	修了証を受領
職長安全衛生教育	6月		外部	6/15,16	修了証を受領
職長安全衛生教育 2	11月		外部	2017.11.14 15	修了証を受領
環境マネジメント(エコアクション)研修	7月		内部(藤井)	2017.08.10	
ISO9001:2015 運用研修	9月		内部(藤井)	2018.09.08	
5トン未満クレーン運転特別講習	2月		外部	2018.02.07 08	修了証を受領
緊急時発生対応訓練	3月		外部	2018.03.09	

教育訓練計画書/実績表

成果・課題

人材交換を行うことで他部門の業務内容を知ることが出来、会社全体の業務の流れについて理解を深めるだけでなく、自身の担当部門の要望や留意点などを異動先に広めることができることで業務に対する認識の共有やムダの削減に繋がりました。

作業	詳細												
	社員氏名												
曲げ	NC操作が出来る アマダ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	NC操作が出来る コマツ	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	NC操作が出来る ムラタ	△	△	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	ロール	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	コーナーシャー	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	ボール盤	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	溶接機	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	ブラズマ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	図面と製品の照合	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	金型の選択	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	メンテナンス	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	作業指示書の管理	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	加工可能・不可能の判断	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	寸法出し	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	異常の判断	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	プレス免許	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

力量評価管理表(抜粋)

ISO9001に基づく職務要件・力量評価管理などにより品質の管理を行うことで不良の発生を抑制して材料ロスや生産効率の向上に伴う環境負荷の軽減を進めると共に多能工化の推進に繋がり多角的な捉え方が出来るようになりました。

「環境 人づくり企業大賞 2018」受賞企業の取組事例

立地的に離れた位置にある工場においても人材の定期的な異動により意識の統一が図られ、日常の 5S 活動や省エネ対策などでも視点が入れ替わることで普段では気がつかないことに意識が向き改善の流れが加速しています。

昼食アンケートの結果コンビニ食やインスタントラーメンなど不健康な食生活に傾きがちの人が多く見受けられましたが、健康指導に加え昼食費補助を行うことでコンビニ食利用者はほぼいなくなりゴミの削減にも繋がりました。

ウォーキングラリーの結果を発表し上位者を会議で表彰することで社員同士競い合いながら健康に対する意識が高まると共に燃料削減にも効果がでています。

各部門長による経営陣層によるトップダウンの流れと若手を中心に任命された各委員会によるボトムアップの流れに加えて人材交換による部門の垣根を越えた水平展開の流れがより柔軟な流れを生み出し日々の改善活動を活発化させています。

今後の改善

次年度に向けても新工場の開設・本格稼働の計画が進んでおり、事業活動の拡大に伴う環境負荷の増加を最小限に抑えることが最大の課題だと考えております。

IoT 化の推進を続ける一方で、現場の生産効率の向上・機械稼働時間の短縮といった結果が見えづらい部分での改善を重点課題として毎月の部門会議・全体会議でデータを取り検討しています。

近年は健康・働き方への関心も高まり、健康への意識を刺激することが環境負荷の軽減に結びつけることに成功しています。

今後も環境・品質・健康、3つの視点を互いにめぐらせあい日々の改善に取り組んでいきます。

関連補足情報

2017 年度環境経営レポート

<http://ea21.jp/list/pdfn/0005192.pdf>

審査委員会からの講評

同社は鋼材の卸販売および加工を行う従業員 46 名の企業である。循環型社会の実現に向けて事業活動と環境配慮の両立を目指して社員教育に取り組んでいる。最近「健康」にも意識を向け、品質・環境・健康の 3つの視点で取り組んでいる。特筆されることは毎週月曜日に自部門以外の仕事について学ぶ「人材交換」を行ったり、毎月 1 回金曜日の午後に事業を停止して全社員参加の全体会議を行い、上記 3つの視点の具体的項目について検討報告を行っていること。これにより会社全体の業務に対する認識の共有やムダの削減に繋がっている。今後は事業活動に拡大に伴う環境負荷の増加を最小限に抑えるだけでなく、地域や社会に目を向けて、SDGs の視点で自社および従業員の成長に繋がる取り組みを期待したい。